

平成28年度 病院事業会計決算報告

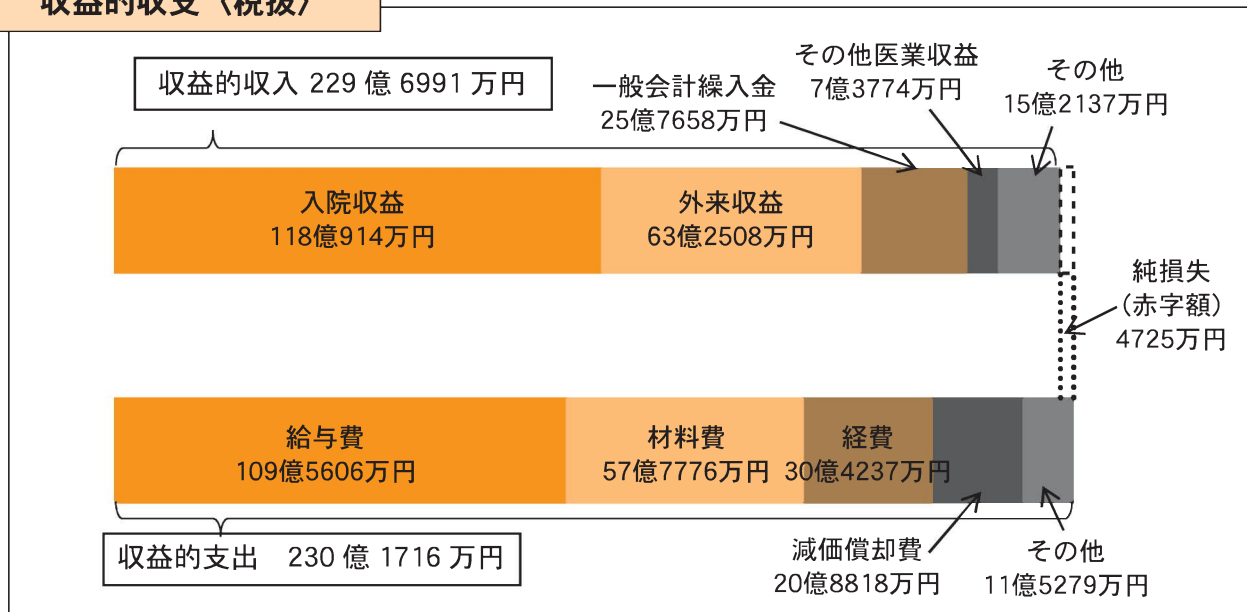
決算概要

平成28年度大崎市病院事業会計決算の概要についてお知らせします。

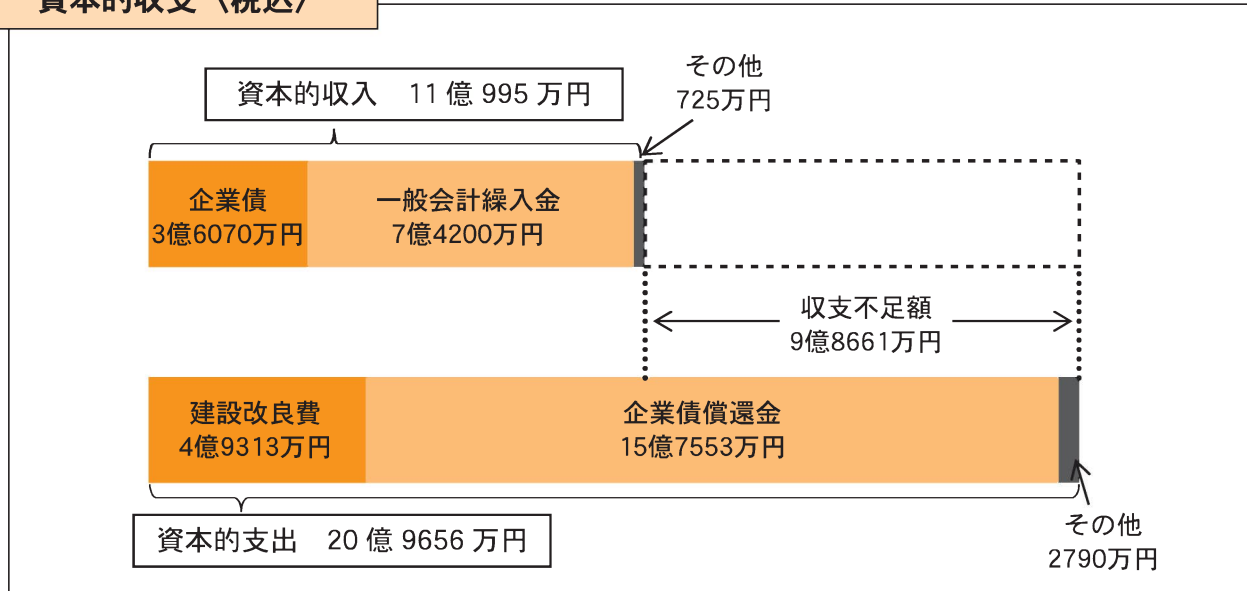
当病院事業は、各施設がそれぞれの機能分担を図りながら、地域の医療ニーズに応えるべく医療機能の充実に努めてきました。本院では、平成28年度に医療の質の向上を目指し受審した病院機能評価にて、「地域に根ざし、安全・安心、信頼と納得の得られる医療サービスを提供すべく、日常的に努力している病院」として認定されました。さらに、平成28年4月から大学病院本院に準ずる機能を有する病院として、DPCⅡ群病院の指定を受けたことなどにより、診療収益が増加しました。その一方で、500床フル稼働に向け、医療スタッフを増員し、稼働病床を487床まで増床したことから、給与費や材料費などの医業費用が増加しました。この結果、病院事業収益は229億6,991万円、病院事業費用は230億1,716万円で、差引4,725万円の赤字決算となりましたが、収支は昨年度と比較し約1億4,458万円改善することができました。

今後は、昨年度に大崎市が策定した「新大崎市民病院改革プラン」を受け、本院は高度急性期および急性期医療を担い、分院・診療所は、回復期および慢性期医療を中心とした地域のかかりつけ医機能を担う役割を実行するため、本院が目指すべき方向性など具体的な行動計画となる「病院ビジョン」を策定します。本院、分院及び診療所の機能維持を図りながら、地域の実情を的確に把握するとともに、市民が安心できる地域医療の向上に貢献してまいります。

収益的収支〈税抜〉

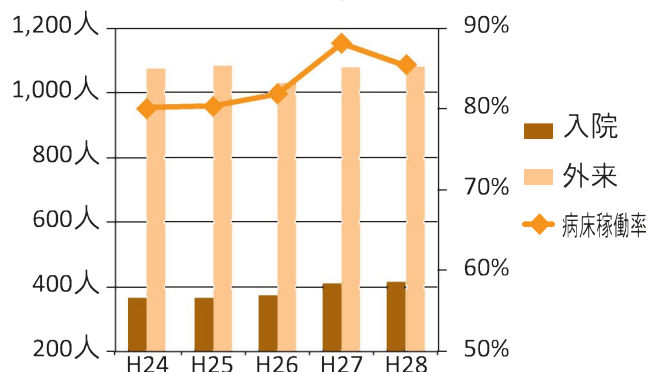


資本的収支〈税込〉

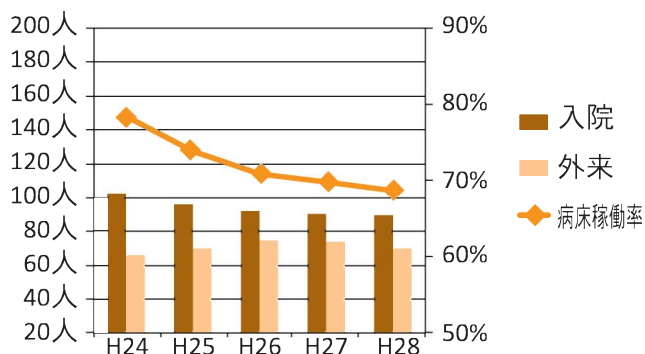


1 日平均患者数及び病床稼働率の推移

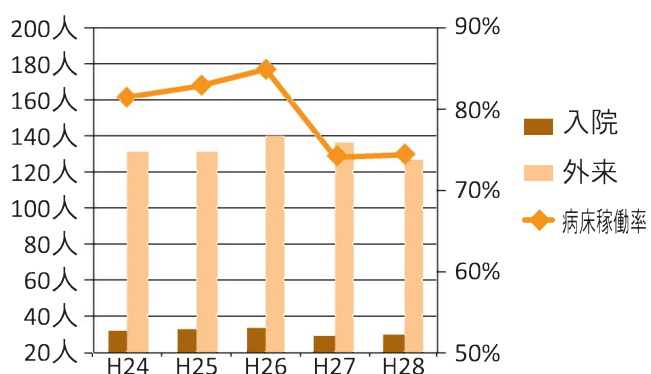
本院



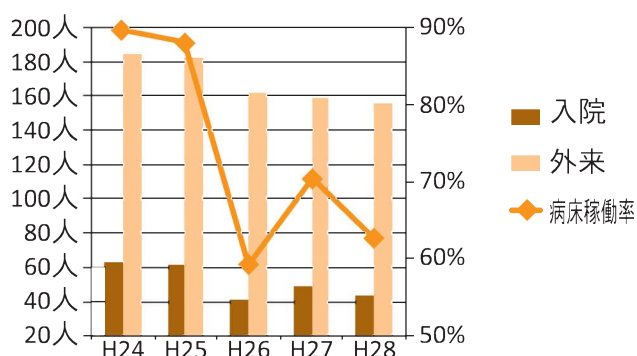
鳴子温泉分院



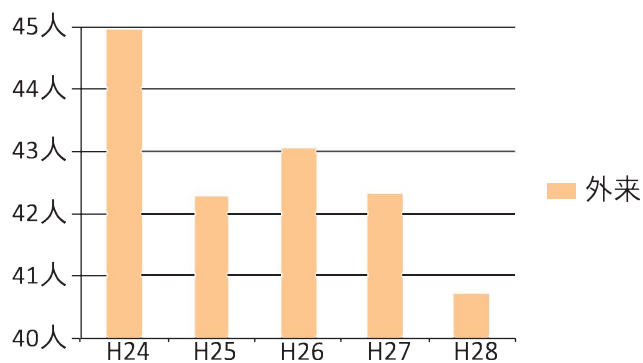
岩出山分院



鹿島台分院



田尻診療所



病院事業全体

		H28年度	H27年度	増 減
入 院	延べ患者数(人)	210,861	212,366	△ 1,505
	1日平均患者数(人)	577.7	580.3	△ 2.6
	病床稼働率(%)	79.6	82.2	△ 2.6
外 来	延べ患者数(人)	360,551	364,748	△ 4,197
	1日平均患者数(人)	1474.3	1491.5	△ 17.2

健康管理センター年間利用者数

H28年度	H27年度	増 減
10,976 人	10,491 人	485 人

用語解説

【収益的収支】

医療サービスの提供やこれに付随する事業など、病院の1年間の経営活動によって生じた収益を「収益的収入」、また、これらの収益を生むために要した費用を「収益的支出」といいます。「収益的収支」とはその差引額のこと、1年間の病院の経営成績を表します。(収入が支出を上回れば「黒字」、下回れば「赤字」です。)

【資本的収支】

医療機器の購入や施設整備に要する支出、また、医療機器購入等のために借入れした企業債の元金返済に要する支出を「資本的支出」、この財源となる企業債や一般会計からの補助金を「資本的収入」といいます。

【病床稼働率】

病院のベッドがどの程度効率的に稼働しているかを示す数字です。100%に近いほど空いているベッドが無い状態で利用されていることになります。病院の経営の質を示す指標として活用されます。